

STT072-06

会場:展示ホール7別室1

時間: 5月27日10:15-10:30

## どうする？日本のInSARミッション

### What should we do for the InSAR mission of Japan?

児玉 哲哉<sup>1\*</sup>

Tetsuya Kodama<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>宇宙航空研究開発機構

<sup>1</sup>Japan Aerospace Exploration Agency

平成20年度の宇宙開発委員会で、陸域観測技術衛星（ALOS）の後継機は、災害監視衛星DiMOSからALOS-2/3とミッションの継続性を重視するよう決定された。しかしながら平成21年10月2日に開催された陸域・海域観測衛星システム開発利用促進シンポジウムの公開資料では、ALOS-2/3はDiMOSの設計をほとんど踏襲していることが見受けられる。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/utyuu/rikukai/091002/gijisidai.html>

本発表ではポストALOS-2に向け、我が国のInSAR専用ミッションの実現に向けた提案を行う。

キーワード: InSAR, 衛星, ミッション, ALOS, DiMOS, ALOS-2

Keywords: InSAR, satellite, mission, ALOS, DiMOS, ALOS-2